

令和2年3月臨時教育委員会会議録

令和2年3月31日 臨時熊谷市教育委員会を熊谷市役所議会棟2階第4委員会室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、加藤 道子、齋藤 洪太、西山 富由紀、大石 聡一

○ 出席事務局

教育次長	小林 教子
教育総務課長	田島 斉
教育総務課	
保健給食担当副参事	馬場 伸夫
学校教育課長	渋谷 昌美
社会教育課副課長	長谷川 朝子
社会教育課文化財保護・ 市史編さん担当副参事	吉野 健
中央公民館長	森田 安彦
文化センター所長	田中 博
教育総務課副課長	長島 千恵
教育総務課主任	吉場 美和

11時00分 3月臨時教育委員会開会

教育長が、令和2年3月臨時熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に齋藤委員を指名した。3月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

教育長から、報告第3-10号を追加提出する旨の発議があった。

教育長から、報告第3-9号及び議案第19号から議案第22号までは、人事案件等のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第1（報告第3-7号）新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設等の休館・利用休止について

教育総務課長から、市有施設の休館、利用休止の期間が3月末から4月末までに延長されることについて報告があった。

文化センター所長から、図書館の本の貸出については、休館が長引いていることから、4月1日から、電話やインターネットで事前予約をされた本については貸出を再開する旨の報告がされた。また、移動図書館についても、新年度から通常の計画どおり運行を再開することが報告された。

日程第1（報告第3－8号）令和2年度第17探択地区教科用図書採択に関する日程について

学校教育課長から、来年度は、中学校の全ての教科の教科書について採択を行うこと、また今後の日程として、7月30日の臨時教育委員会にて採択を行う予定であること等が報告された。

日程第1（報告第3－10号）人権に関する意識調査（第14回）について

社会教育課副課長から、人権問題に関する意識の実態を調査し人権教育実践の基礎資料とすることを目的として、熊谷市人権教育推進協議会が毎年度調査対象を変えて実施している人権に関する意識調査について、第14回の調査が、市内の小学6年生500人（男女各250人）を調査対象として実施されたことが報告された。

日程第2（議案第16号）令和2年度教育委員会の具体的な取組

教育総務課長から、教育委員会の具体的な取組について、「スマホ使い方宣言」が追加されたこと、さくら教室が適応指導教室から熊谷市教育支援センターに名称変更したこと、市指定無形民俗文化財保存団体への補助事業を明記したこと、学校給食費の第3子以降無償化を追加したこと等が報告された。

（質疑）

西山委員から、給食費第3子以降無償化について、小学校1年生から中学校3年生の間の子どもが3人いる家庭が対象かと確認があり、保健給食担当副参事から、その通り、対象の学年に子どもが3人在籍している家庭が対象であるとの回答があった。

日程第2（議案第17号）熊谷市学校適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示

学校教育課長から、熊谷市学校適応指導教室設置要綱の一部を改正する告示について説明があった。改正の理由として、社会に適応させることだけではなく、社会的な自立を目指すことを主な目的としていることから、名称を「熊谷市教育支援センターさくら教室」と改め、要綱中にも「社会的自立」の文言が追加されたことが説明された。

日程第 2（議案第 18 号）熊谷市立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則

学校教育課長から、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」に基づき、学校教育職員の時間外「在校等時間」の上限等について、規則に定め、教員の働き方改革、負担軽減をより進めていくとの説明があった。

具体的には、1か月について45時間、1年について360時間を上限とし、臨時的な特別な事情により業務を行わざるを得ない場合には、1か月について100時間未満、1年について720時間を上限とすること等の説明がされた。

特に質疑はなく、原案どおり可決された。

日程第 2（議案第 19号）～（議案第 22号）

（非公開）

（議案は原案どおり可決）

他に報告はなく、教育長の宣言により、令和2年3月臨時熊谷市教育委員会を閉会した。

（12時00分 閉会）

署名 教育長 野原 晃 _____

委員 齋藤 洪太 _____